

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 能力探求スクール ジーニアス若草校			公表日	令和7年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5	部屋が一つしかない為、不穩の利用者様には散歩や公園へ行くなどの方法を取らせて頂いています。	部屋が一つしかない為、クールダウン出来る部屋がもう一つあると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	必要に応じて他事業所からのヘルプをもらい運営しています。	求人媒体の情報更新を常時行い、人員の充足を最優先で行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	トイレが3か所あり、必要に応じて使い分けをしています。	今後も継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	必要最小限の物を置き、危険の無い空間を提供出来るよう心掛けています。	今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	6		個室がない為、パーテーションなどの使用を検討。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	0	6		事業所内研修やミーティングを行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	評価表に関しては、共有して改善案も考えている。	今後も継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	グループLINEの活用。	今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	外部評価は行っていません。	今後導入を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	オンラインも活用して、研修に取り組みめる環境を整えています。	今後も継続していきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	公表しています。	今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2		今後も継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		今後も継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3		今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	5	その都度の話し合いや情報共有を行い、改善に向け取り組んでいます。	今後も継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	4		正社員以外にもガイドラインが閲覧出来るようにし、どの部分がガイドラインに沿っているのか説明する機会を設けていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	LINEを活用し案を出し合い考えています。	今後も継続していきます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2		今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	個々の特性を把握、共有し支援に取り組んでいます。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2		今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	休みのスタッフも周知出来るよう必要に応じてグループLINEを活用しています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	情報共有をして、振り返りを行っています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	定期的に行っています。	今後も継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	「地域交流の提供」以外は活動内で組み合わせながら提供しています。	今後も継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	個々に合わせた教材を準備して取り組んでいる活動(ジーニアスワーク、自立教室、ビジョントレーニング)があります。	今後も継続していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達管理責任者が主で出席しています。必要に応じて、電話での面談も行っています。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	連携は取れていません。	連携が取れるよう積極的に研修などに参加します。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校送迎時や電話にてに担任へ確認、保護者様へは連絡して頂くようお願いしています。	今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		連携が取れていない為、今後情報共有等行えるように、関係構築に努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		必要に応じて情報提供出来るようにします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		今後は積極的に研修に参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		地域交流の提供ができていない為、今後関係構築に努める
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		今後は積極的に研修に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	利用表、公式LINEの活用	送迎がドライバーの為、保護者と話す機会が少ない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	契約時に説明、個別支援計画書にも記載しています。	今後も継続していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に説明をさせて頂いています。	今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	ご本人様、保護者様に面談、LINE等で確認しています。	今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1	面談時に、支援内容の意向、確認を行っています。	今後も継続していきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	公式LINEを利用して連絡が取りやすい環境を整えています。	今後も継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	高校卒業後の進路説明会について、開催させて頂きました。	保護者説明会の開催はさせていただいたが、事業所の保護者様同士の交流をできる場を作っていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	LINEでの共有	今後も継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎日のSNS,2か月に一度の広報誌で活動や行事などをお知らせしています。	今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの書庫で管理しています。	今後も継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		現在地域交流ができていない為、今後は地域の関りを増やしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	契約時に説明をさせて頂いています。	今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	月に一回の避難訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	契約時に確認、服薬が変更になった際には連絡頂くようお願いしています。	今後も継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約時に確認させて頂いています。	今後も継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	4	行っています。	今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	契約時に緊急連絡先を提出して頂いています。	今後も継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	行っています。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	月に一回の会議内容を周知、定期的に研修を行っています。	今後も継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	契約時に説明をし、個別支援計画へ記載している。	今後も継続していきます。	